



後援会報

2014年9月 発行23号

事務局 高澤 裕司

不二越工業高校内

TEL (076) 425-8304

会員の皆様へ

不二越工業高等学校 校長 八重崎 信好

後援会の各位様には平素から本校野球部の活動並びに本校の運営にご支援、御配慮を賜り、深く感謝致します。今シーズンは県内各校ともしばしば抜けた強豪チームが無く、本校にも大いに優勝の可能性がありました。結果的に準決勝で富山県としては2年連続で甲子園2勝を果たした、富山商業高校に惜敗しました。人工芝グラウンドでの経験の差があったような気が致します。学校として、全校応援をさせてもらい、大変に盛り上りました。

さて、本年の新入生は学校全体としても104名と極めて少なく、結果的に野球経験者の少ないため、厳しい部の代表とされる野球部入部者は、8名と一年生だけでは一チームが組めない人数で、非常に残念では有ります。

このような状況ですが選手諸君は明日の甲子園を夢見て、毎日頑張っています。

また、長年本校のみならず、富山県の高校野球をリードしていただいた、陸田監督が日本高等学校野球連盟育成労者表彰を勲章に引退されました。最後のシーズンに、何としても甲子園で雄姿を全国にお見せ出来るようにと頑張ったのですが、上記結果で終わりました。

新監督には蛇田、陸田両監督のもとで、コーチを務めました、鈴木新吾先生が就任しました。今までのコーチ時代の中身に新しいチームカラーを追加して指導してくれるものと思っています。

富山県の高校野球が不毛の地でなく、北信越が日本の高校野球のメッカになりつつある中で、選手諸君が不二越高校で野球をやったことを誇りに、人生を歩んでくれることを願っております。

関係各位のご健勝お祈りするとともに、今までにもましてのご支援をお願いする次第で御座います。

監督の努めと責任

野球部前監督 陸田 俊行

今年もまた2度目の甲子園出場はなりませんでした。ご声援いただいた会員の皆様のご期待に沿うことが出来ず、誠に申し訳ございません。

部活動は教育の一環だと言われています。教室で学びきれないことを部活動を通して体験し、将来社会に貢献出来る人としての人格を形成する活動であると思います。

部活動としての高校野球の目標は「人格形成」であり、目的は「甲子園出場」であると選手には話してきました。礼儀、忍耐力、協調心、思考力、行動力、判断力等を練習・試合を通して学び、身につけるよう指導しました。

高い技術力を得るために技術の練習だけではなく上記のような強い精神力が当然必要であり大切です。すばらしい運動能力をもって生まれた選手でも、それらのことをおろそかにすると、その運動能力を発揮することが出来ません。高い技術力を身につける努力と強い精神力を身につける努力は一体的なものです。

監督の努めは一体的に努力することを指導することではないでしょうか。神が指導するのではありません、監督も欠陥を持った人間です。人を指導する立場の者（監督）は、指導を受ける者（選手）の数十倍の努力と研究心が必要です。その努力をすることが高校野球の監督の責任だと思います。

4度の監督復帰、約30年間の監督を退任させて頂きます。不二越高校に53年間お世話をになりました。歴代の校長先生、諸先生、会員の皆様に感謝致します。長い間ありがとうございました。

会員の皆様方へ（監督就任あいさつ）

野球部新監督 鈴木 新伍

後援会の皆様には、日頃から本校野球部に対し、多大なご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

選手権大会後、陸田監督の後を引き継ぎ、新チームより指揮を執らせていただくことになりました、本校教諭 鈴木新伍です。宜しくお願ひ致します。

春季大会では2回戦で高岡商業高校に延長15回引き分け再試合となりましたが、大敗に終わりました。その雪辱を晴らすため、選手権大会に向けて今までにない、6月に走り込みをするという異例の練習を重ね、臨みました。

選手権大会においては、3回戦で新湊、準々決勝では国際大学付属を破り、9年振りの準決勝へ進出しました。結果は惜敗ではあったものの、上級生は下級生に対し、大きな「お土産」と「課題」を与えてくれました。また、私自身、陸田監督からは多くの「教え」をいただきました。

新チームとなって約1ヶ月、1年生8名、2年生15名という少ない人数ではありますが、「考動」をテーマに、周囲から応援していただけるようなチーム作りを目指し、活動しております。先般行われた呉東地区大会では、富山第一高校に逆転負けを喫し、技術以外の差を見せ付けられました。今はその差を埋めるべく、更なるチーム作りに励んでおります。

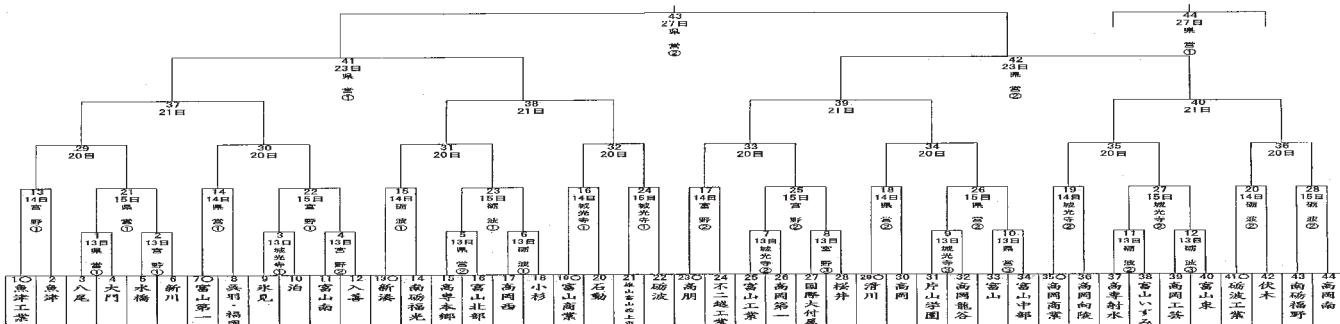
9月13日からは選抜高等学校野球大会への出場権を賭け、14日に高朋高校との試合が決まっております。1戦1戦全力で戦っていき、皆様に良い報告ができるようにと思っております。

今後とも皆様のご支援ならびにあたたかいご声援を宜しくお願ひ致します。

平成26年度 不二越工業高等学校野球部 新体制（8月より） 部員総数 23名

部長	梅野 豪	一年生	8名
監督	鈴木 新伍	二年生	15名
コーチ	松本 芳宏		

第67回秋季富山県高等学校野球大会 組合せ（9/13～27）



～ 事務局よりお詫びとお願ひ～

昨年度より野球部への実質的な活動支援やその他部活動への補助などこれまで行ってきた支援活動が停止しています。事務局には決定権が無い上、基本的に学校内組織ではないので学校側も動きません。私としましては、毎年皆様からお預かりしている会費の管理を行っている状態です。（支出は会報発行発送費用のみ）これからも何とか野球部強化、部活動活性化へ向けて同窓野球部後援会が機能していけますよう願っております。後援会長・副会長不在の現状を新しく整備し、母校野球部・部活動発展のために会員の皆様のお力をいただきたいと考えております。事務局としても苦しい事情を何としてもお伝えいたしましたご連絡させていただきました。申し訳ありません。

不二越工業高等学校教諭 高澤 裕司

